

18. 印刷・ファイル取得

1

印刷

お客さまのお申込内容（申込書）や池田泉州銀行が作成した計算書などをPDF形式ファイルで印刷できます。印刷できるPDF帳票は、以下のとおりです。

サービス種類	ボタン名	PDF帳票の種類	取引の選択可否	最大印刷件数
仕向送金	申込書印刷	申込書	○	100件
	決済明細印刷	計算書	○	100件
	一覧印刷	一覧	×	1,000件
外貨預金振替	申込書印刷	申込書	○	100件
	振替明細印刷	計算書	○	100件
	一覧印刷	一覧	×	1,000件
外貨預金入出金明細	一覧印刷	一覧	×	3,000件
輸入信用状開設・条件変更	申込書印刷	申込書	○	100件
	手数料明細印刷	計算書	○	100件
	一覧印刷	一覧	×	1,000件
被仕向送金到着案内・入金	申込書印刷	申込書	○	100件
	入金明細印刷	計算書	○	100件
	一覧印刷	一覧	×	1,000件
被仕向送金照会	入金明細印刷	計算書	○	100件
	一覧印刷	一覧	×	1,000件
為替予約	印刷	申込書	×	1件
	照会結果印刷	申込書	○	100件
	一覧印刷	一覧	×	1,000件
	Slip印刷	予約スリップ	×	1件
リープオーダー	印刷	申込書	×	1件
	一覧印刷	一覧	×	1,000件
為替予約明細照会	一覧印刷	一覧	×	1,000件
	印刷	為替予約明細 (履行明細)	×	1件
	時価評価明細印刷	為替予約明細	×	1,000件

※1 「取引の選択可否」欄が「×」（不可）の場合、取引の選択有無に関わらず、すべての取引を一括印刷します。

ただし、一覧印刷については取引ではなく、取引の一覧を印刷します。

※2 「取引の選択可否」欄が「○」（可能）の場合、同じページに表示されている取引のうち、選択された取引のみ印刷します。異なるページに跨って表示された取引を選択することはできません。

※3 並び順を変更し再表示した場合、再表示後の順序で印刷されます。

※4 計算書については、一覧画面で「照会」ボタンが表示されていない（計算書が登録されていない）取引を1件でも選択した場合、印刷を行うことができません。

2

ファイル取得

お客さまのお申込内容（申込書）や池田泉州銀行が作成した計算書などをファイルとして取得できます。取得できるファイルは、以下のとおりです。

サービス種類	ボタン名	取得ファイルの種類	取引の選択可否	最大取得件数	取得ファイルの形式		
					CSV形式	全銀形式	XML形式
仕向送金	申込ファイル取得	申込データ	○	100件	○	—	—
	決済明細ファイル取得	計算書データ	○	100件	○	—	—
	決済明細（全銀フォーマット）取得	計算書データ	○	100件	—	○	—
外貨預金振替	申込ファイル取得	申込データ	○	100件	○	—	—
	振替明細ファイル取得	計算書データ	○	100件	○	—	—
外貨預金入出金明細	ファイル取得	入出金明細データ	×	3,000件	○	—	—
輸入信用状開設・条件変更	申込ファイル取得	申込データ	○	100件	○	—	—
	手数料明細ファイル取得	計算書データ	○	100件	○	—	—
被仕向送金到着案内・入金	申込ファイル取得	申込データ	○	100件	○	—	—
	入金明細ファイル取得	計算書データ	○	100件	○	—	—
	入金明細（全銀フォーマット）取得	計算書データ	○	100件	—	○	—
被仕向送金照会	入金明細ファイル取得	計算書データ	○	100件	○	—	—
	入金明細（全銀フォーマット）取得	計算書データ	○	100件	—	○	—
為替予約	ファイル取得	申込データ	○	100件	○	—	—
為替予約明細照会	残高明細ファイル取得	為替予約明細データ	×	1,000件	○	—	—
	締結明細ファイル取得	為替予約明細データ	×	1,000件	○	—	—
	時価評価明細ファイル取得	為替予約明細データ	×	1,000件	○	—	—
	履行明細ファイル取得	為替予約明細データ	×	1,000件	○	—	—
相場情報	ファイル取得	相場情報履歴データ	×	366件※7	○	—	—
管理	ファイル取得	操作履歴データ	×	10,000件	○	—	—

※1 「取引の選択可否」欄が「×」（不可）の場合、すべての取引をファイルに一括出力します。

※2 「取引の選択可否」欄が「○」（可能）の場合、同じページに表示されている取引のうち、選択された取引のみファイルに出力します。

異なるページに跨って表示された取引を選択することはできません。

※3 全銀形式ファイル、XML ファイルのフォーマットについては、「Web 外国為替サービス操作マニュアル（別冊）」をご参照ください。

※4 並び順を変更し再表示した場合、再表示後の順序でファイルに出力されます。

※5 操作履歴は、画面に表示されていない操作履歴も取得されます。

※6 計算書については、一覧画面で「照会」ボタンが表示されていない（計算書が登録されていない）取引を1件でも選択した場合、ファイル取得を行うことができません。

※7 前日～最大1年前までの公示相場情報について、取得が可能です。

注意

CSV形式ファイルをExcelで開いた際、数値項目の桁落ち（先頭のゼロが表示されない）や日付項目の表示崩れなどが発生する場合は、以下の手順をお試しください。（元のCSV形式をExcelのテキスト形式に変更します。）

- ①新規のExcelファイルを開きます。
- ②[データ]タブで、[外部データの取込]>[テキストファイル]を選択します。
- ③対象のCSVファイルを指定し、[インポート]を押下します。
- ④[テキストファイルウィザード]で、[カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ]を選択し、[次へ]を押下します。
- ⑤[区切り文字]に[カンマ]を選択し、[次へ]を押下します。
- ⑥画面下部の[データのプレビュー]で、表示されたデータをすべて選択します。（シフトキーを押しながら末尾の列をマウスクリックすると全選択されます。）
- ⑦この状態で画面上部の[列のデータ形式]に[文字列]を選択し、[完了]を押下します。
- ⑧[データの取込]で、[データを返す先を選択してください。]に[新規のワークシート]を選択し、[OK]を押下します。
- ⑨Excelファイルがテキスト形式で表示されますので、必要に応じて[名前を付けて保存]で保存してください。